

目次

- 命を守る行動を 2
- わが家の避難行動マニュアル(避難行動マニュアル・ペットとの同行避難) 3・4
- 緊急連絡先 5
- 指定緊急避難場所 6
- 指定避難所 7・8
- 風水害に備えて 9・10
- 内水氾濫 11・12
- 高潮災害 13
- 洪水災害 14
- 土砂災害 15・16
- 地震災害 17・18
- 地震に備えて 19
- 耐震診断・住まいの耐震化 20
- 津波災害 21

ぜひ読んでおこう!!

津波ハザードマップ

- 津波による浸水深 30 cm到達時間予測図(最大クラス) 22
- 津波による浸水想定と被害の程度(北部と伊吹島) 23・24
- 津波による浸水想定と被害の程度(南部) 25・26

高潮・土砂災害ハザードマップ

※29ページから58ページの凡例は74ページにあります(折り込みページ)

- 災害が起こる前にやっておこう! 27
- 索引図 28
- 高潮・土砂災害ハザードマップ全域図 29・30
- 高室地区(高潮・土砂災害情報) 31・32
- 観音寺町地区(高潮・土砂災害情報) 33・34
- 常磐・一ノ谷地区(高潮・土砂災害情報) 35・36
- 柞田地区(高潮・土砂災害情報) 37・38
- 豊田・木之郷地区(高潮・土砂災害情報) 39・40
- 奥谷地区(高潮・土砂災害情報) 41・42
- 大野原・花稻地区(高潮・土砂災害情報) 43・44
- 栗井・紀伊地区(高潮・土砂災害情報) 45・46
- 萩原・井関地区(高潮・土砂災害情報) 47・48
- 田野々地区(高潮・土砂災害情報) 49・50
- 有木・海老濟地区1(高潮・土砂災害情報) 51・52
- 有木・海老濟地区2・伊吹地区(高潮・土砂災害情報) 53・54
- 豊浜地区(高潮・土砂災害情報) 55・56
- 箕浦地区(高潮・土砂災害情報) 57・58

洪水ハザードマップ

※59ページから66ページの凡例は74ページにあります(折り込みページ)

- 財田川浸水想定区域図(最大規模) 59・60
- 柞田川浸水想定区域図(最大規模) 61・62
- 財田川・柞田川浸水想定区域図1(最大規模) 63・64
- 財田川・柞田川浸水想定区域図2(最大規模) 65・66

ため池ハザードマップ

- ため池氾濫 67・68
- ため池ハザードマップ 対象 39 池一覧 69・70

防災のしおり

- 平常時の災害避難対策 71
- 要配慮者への支援 72
- わが家の防災メモ・防災情報の入手 Hazard map code 73
- 情報伝達・災害用伝言ダイヤル・伝言板・凡例(折り込み) 74
- 非常時持ち出し品・防災アプリの活用(折り込み) 75

命を守る行動を.....



命を守る行動を、わが家の避難行動マニュアル

避難のタイミング

気象状況	警戒レベル	気象等の情報	市の対応	住民が取るべき行動
大雨の数日～約1日前	1	早期注意報(警報級の可能性)	心構えを一段高める 職員の連絡体制を確認	災害への心構えを高める
大雨の半日～数時間前	2	大雨注意報 洪水注意報 大雨警報に切り替える可能性が高い 注意報	高潮注意報 第1次防災体制 第2次防災体制(高齢者等避難の発令を判断できる体制)	自らの避難行動を確認 ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。
大雨の数時間～2時間程度前	3	大雨警報 洪水警報 高潮警報に切り替える可能性が高い 注意報	高齢者等避難 第3次防災体制(避難指示の発令を判断できる体制)	危険な場所から高齢者等は避難 高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備を始めたり、自主的に避難する。
	4	土砂災害警戒情報 高潮警報 高潮特別警報	避難指示 第4次防災体制(災害対策本部設置)	危険な場所から全員避難 台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。
数十年に一度の大雨	5	大雨特別警報	緊急安全確保 ※必ず発令される情報ではない	命の危険直ちに安全確保! すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。

~~~~< 警戒レベル4までに必ず避難! >~~~~

夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3(高齢者等避難)に相当します。「避難情報に関するガイドライン」(内閣府)に基づき気象庁において作成